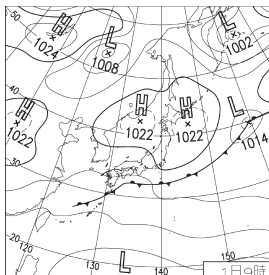


日々の天気図

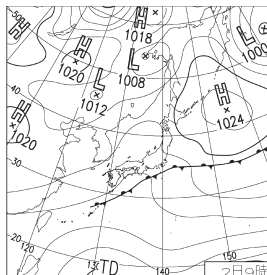
— No. 57

2006年10月

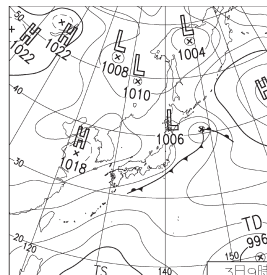
・6日～8日、低気圧と前線の影響で東日本～北日本荒天。浸水害、土砂災害、強風害、海難、山岳遭難が相次ぐ。24時間降水量は埼玉県秩父市252.5mm、岩手県葛巻町289.5mm、北海道遠軽町220mm、最大瞬間風速は千葉県銚子市39.0m/s、北海道根室市42.2m/sなど。
(気象庁予報部予報課)



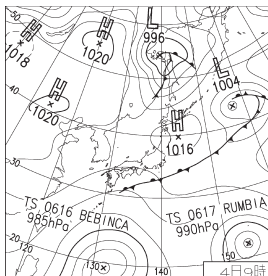
1日(日)台風ベトナムに上陸
西日本で降り出した雨は順調に東に伸び、昼前から東海・関東も雨。北日本は概ね晴れ。南西諸島は所々でわか雨。フィリピンに災害をもたらした台風第15号、ベトナムに上陸。



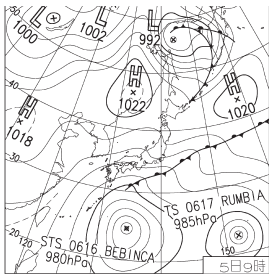
2日(月)雨雲は北日本へ
本州南岸に前線停滞、日本海には上空に寒気を伴った低気圧発生。東日本～東北を中心に雨、次第に北海道に雨雲は移る。九州、北海道北部は終日晴れ。台風第15号熱帯低気圧に。



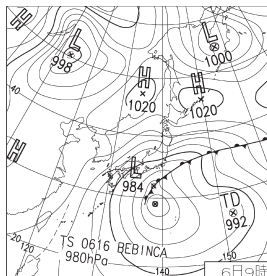
3日(火)台風第16、17号発生
東北北部、北海道の低気圧に伴う雨は午後には止んだが、東海～関東の太平洋側では秋雨前線の影響で曇り。その他の地方は高気圧に覆われて秋晴れ。台風が2個相次いで発生。



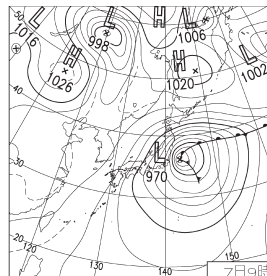
4日(水)秋雨前線 南岸に停滞
東日本・西日本の太平洋側は曇りや雨。高気圧に覆われた北日本と北陸、西日本の日本海側は概ね晴れ。奄美地方は大気の状態が不安定。与論島で51.5mm/1hの非常に激しい雨。



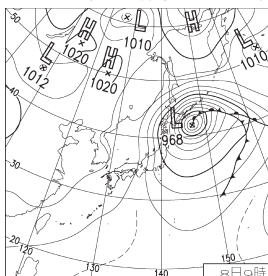
5日(木)西日本・東日本 大雨
秋雨前線の活動が活発。東北南部から中国・四国は雨で東海、近畿では大雨。九州は曇り。東北北部から北海道は晴れ。奈良県上山山村日出岳277mm/24hの大雨。



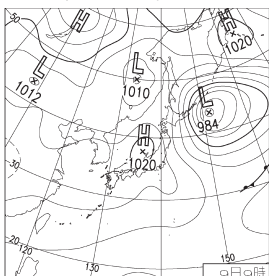
6日(金)低気圧急発達 大荒れ
紀伊半島の南に低気圧発生、急発達。東北～東日本で日雨量200mm超えの大雨と暴風。千葉県銚子市で最大瞬間風速39.0m/s。船の座礁相次ぐ。台風第16号、17号、熱帯低気圧に。



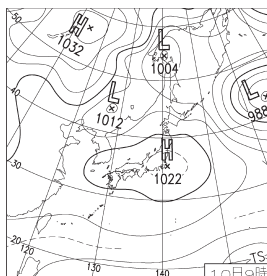
7日(土)北日本、大荒れ
低気圧は更に発達して関東沖から三陸沖をゆっくり北上。北日本太平洋側を中心に風が猛烈に強く海上は猛烈なしけ。北海道えりも町えりも岬で最大風速38m/s、歴代1位。



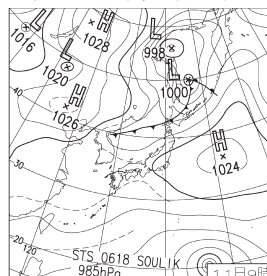
8日(日)北海道、大荒れ
発達した低気圧は、北海道の東海上を東へ。北日本では非常に強い風と大しけ続く。北陸は大雨。東日本の一部では強風が残った。北海道根室市最大瞬間風速42.2m/s、歴代1位。



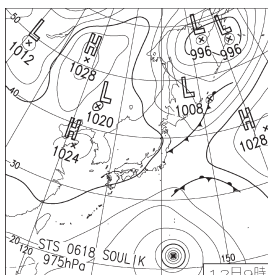
9日(月)各地から初冠雪の便り
発達した低気圧は北海道東海上をさらに東進。道東の天気も午後から回復。各地秋晴れ。北海道から北陸の山々、離阿寒岳、白山等で初冠雪。南鳥島の南方で台風第18号発生。



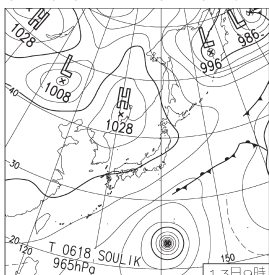
10日(火)全国的にほぼ秋晴れ
高気圧に覆われ北日本や紀伊半島の一部で曇りの他はほぼ全国的に秋晴れで9月中下・旬並みの気温。甲府市で平年より51日遅くアキアカネ観測。



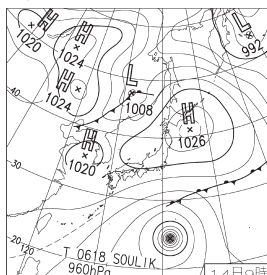
11日(水)北日本 寒冷前線通過
北日本は所々で雷を伴う激しい雨。気圧の谷となった四国東部、近畿、東海も雨。その他は、九州から南西諸島にかけてと関東南部で午前中に晴れた他は概ね曇り。



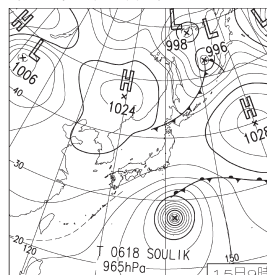
12日(木)徐々に高気圧圏内
寒冷前線は北日本を抜けたが、日本海側や北海道北部を中心に弱い雨が降る。西から高気圧に覆われて関東以西は晴れ。平年より3～5℃高い最高気温。九州・沖縄は真夏日の所も。



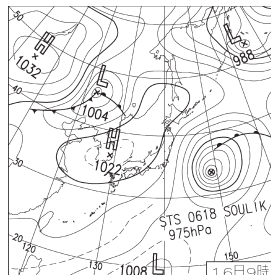
13日(金)北は曇り空西は秋晴れ
上空に寒気を伴った気圧の谷が通過し、北日本は所々で曇りや雨。東日本～南西諸島は高気圧に覆われ秋晴れ。北海道は冬日、沖縄では真夏日の所も。北海道暑寒別岳が初冠雪。



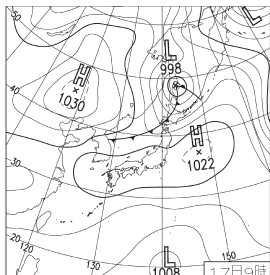
14日(土)北海道 初霜・初氷
北海道南東海上に中心を持つ高気圧に覆われ全国的に概ね晴れ。関東、東海の一部は湿った空気が流入し曇り午後から雨。北海道帯広市、旭川市、釧路市で初氷。札幌市で初霜。



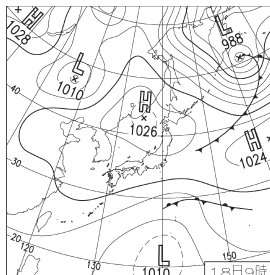
15日(日)台風第18号父島西通過
父島で26mm/1hの強い雨。最大瞬間風速48.2m/s。前線が北日本を通り、北海道は所々でやや強い雨。関東南部では午前中曇り。その他の地方は概ね晴れ。



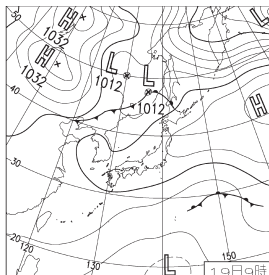
16日(月)台風第18号温低化
 東北北部の太平洋側で曇りや雨の他は、高気圧に覆われ全国的に秋晴れ。東日本・西日本は平年より2～5℃高い9月中下旬並みの最高気温。台風第18号は日本の東で温帯低気圧に。



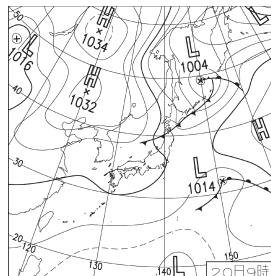
17日(火)寒冷前線北日本を通過
 低気圧がサハリン付近を東進し、寒冷前線が北海道～東北を通過。北日本は10mm/1h前後の雨と沿岸部を中心に15～20m/sの強風。東日本以西は高気圧に覆われ概ね晴れ。



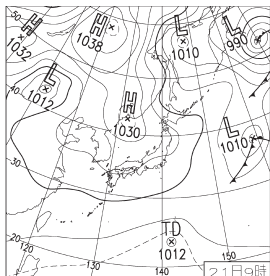
18日(水)全国的に秋晴れ
 全国的に移動性高気圧に広く覆われ、東北の一部で曇っている他は概ねさわやかな秋晴れ。最高気温は北日本で寒気の影響で平年並みか1～3℃低く、東・西日本は平年より高い。



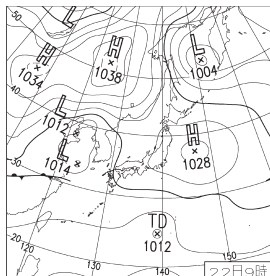
19日(木)本州秋晴れ北海道は雨
 高気圧に覆われ、本州から沖縄まで概ね晴れ。沿海州から低気圧が近づき北海道北西部は曇りで午後は雨。宗谷支庁利尻町雪形で43.5mm/1hの激しい雨、歴代1位を記録。



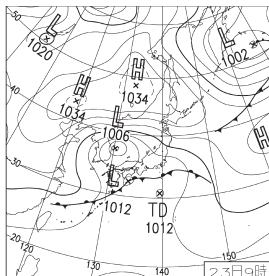
20日(金)全国的に気温高め
 北日本から北陸に寒冷前線が南下、ほぼ全国的に曇りて北海道や本州の日本海側の所々で雨。新潟県長岡市守門岳で24.5mm/1h。日平均気温は全国的に平年より2～5℃高い。



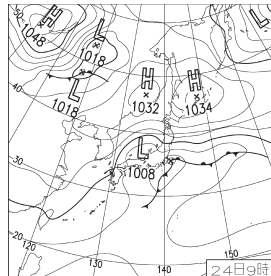
21日(土)北海道に寒気流入
 北日本は曇りや雨で一部で晴れ間も覗く。平年並み～11月上旬の低い気温。大陸の高気圧に覆われた東・西日本は概ね晴れて暖かく、9月中旬～10月中旬の気温。



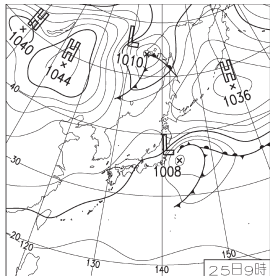
22日(日)北海道から初雪の便り
 高気圧が東海上に抜け東日本には湿った気流が入り、西日本には低気圧が接近、各地、晴れから次第に曇りや雨。北日本は上空に寒気が入り、北海道稚内市、紋別市で初雪を観測。



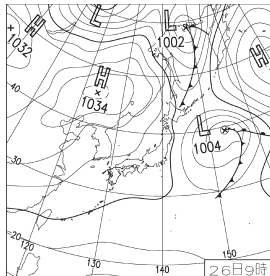
23日(月)四国沖に低気圧発生
 南岸の前線を低気圧が東進、北海道と九州南部で晴れの他は曇りや雨。天気は西から回復。東京都三宅村三宅伊豆62mm/1h。北海道旭川市の最低気温-3.2℃。平年より6.0℃も低い。



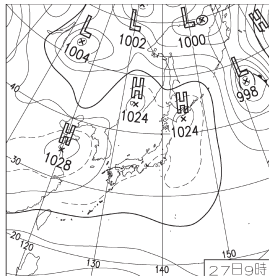
24日(火)関東の東海上 大荒れ
 房総半島沖で低気圧が発達、東北南部、関東の太平洋側で大荒れ。千葉県銚子市で最大瞬間風速34.8m/s。茨城県鹿嶋市、千葉県東庄町で39mm/1h。茨城県沖で貨物船座礁。



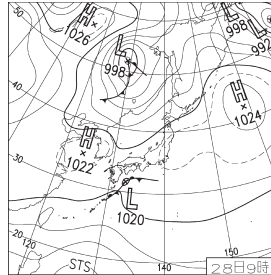
25日(水)大荒れ続く
 房総半島沖の低気圧は東へ進み、大荒れの状況も目中には次第におさまる。東京は昼前から晴れ。その他の地方も、天気は回復。本州の日本海側の所々で曇りや雨の他は概ね晴れ。



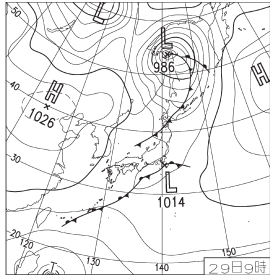
26日(木)暖かな秋日和
 大陸から高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴れや曇り。北日本の一部を除き平年より暖かく、9月下旬～10月中旬の最高気温。北海道旭川市で平年より5日遅くイロハカエド紅葉。



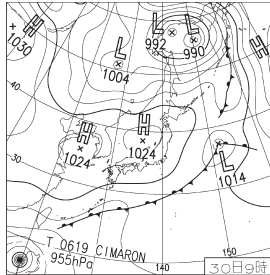
27日(金)北海道 寒い朝
 気圧の谷が通過。北～東日本は東海を除き曇りや雨。東海と西日本は高気圧に覆われ概ね晴れ。北海道は朝の冷え込み厳しく、幌加内町朱鞠内で-7.9℃。台風第19号発生。



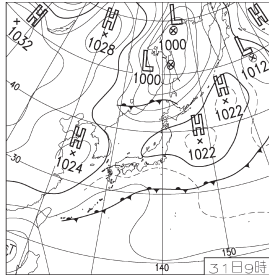
28日(土)北海道と南岸で雨
 日本の南海上～南西諸島に前線が停滞。近畿、四国では曇りや雨。夕方から北海道や東北でも気圧の谷が接近し広範囲で10～15mm/1hの雨。その他の地方は穏やかな秋晴れ。



29日(日)日本付近 気圧の谷
 本州南岸を低気圧が東進、関東南部は朝まで雨。また、寒冷前線が北日本、北陸を通過。北海道、東北、北陸も雨。新潟県上越市高田91mm/1h。夜に歴代1位の記録的な大雨。



30日(月)ほぼ全国的に秋晴れ
 南西諸島で曇りや雨の他は高気圧に覆われて、各地ほぼ秋晴れ。気温もほぼ平年並み。北海道函館市で初水。台風第19号はフィリピン、ルソン島を横断して南シナ海に。

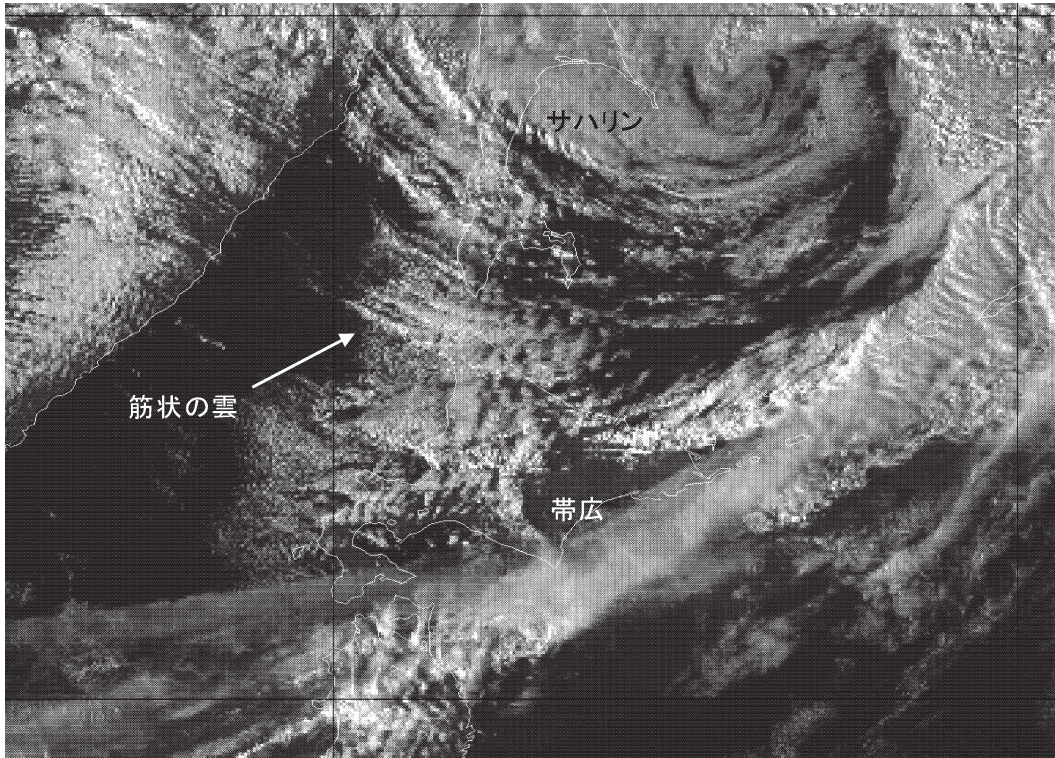


31日(火)暖かな10月
 北海道と南西諸島は前線の影響で曇りや雨。その他は概ね晴れ。10月は東北～南西諸島では暖かく神戸市、熊本市、鹿児島市など西日本の9地点で、月平均気温の高い極値を更新。



今月のひまわり画像—2006年10月

一足早く訪れた北海道の冬



2006年10月17日15時の可視画像

秋から冬にかけて日本付近はしばしば西高東低の冬型の気圧配置となり、日本海には「筋状の雲」が見られるようになる。この雲は大陸からの寒気を伴った季節風が海上を渡るときに水蒸気が供給されてできる対流雲列である。筋状の雲は寒気の強さの目安となり、寒気が強いときは大陸のすぐそばから発生して日本海全域を覆うようになる。

画像は10月17日15時の可視画像である。画像では低気圧の中心はサハリンの東に抜け、低気圧後面の寒気移流に伴い沿海州及び北海道北西部からオホーツク海

にかけて筋状の雲が見られる。

10月16日から17日にかけて、北海道では低気圧が発達しながらオホーツク海に達し、一時的に冬型の気圧配置となった。北海道は上空5,600メートル付近で -18°C 以下の寒気に覆われ、17日の道内の最低気温は帯広で 2.5°C （平年値は 4.0°C ）と平年よりやや低くなった。

時候の上では仲秋であるが、衛星画像から北海道では一足早い冬のきざしが現れているようである。

（気象衛星センター）